平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名（英）	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ）			授業コード	E002614
担当教員名	河村 裕次			科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分		単位数	4		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であり，自分の考えていることを相手に正確に伝えることを意識的に行っていきます。そのためにも問題を明確化するとともに，積極的な参加を期待します。				
教科書					
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。				
関連科目	社会福祉調査法，福祉経営論，社会福祉原論，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論など				

授業の目的	近年の我が国では，少子高齢化社会を本格的にむかえ，社会福祉の転換期を迎えています。こんにちの福祉においては，利用者の自立支援，利用者による選択や契約等による福祉サービスの利用，権利擁護，第三者評価による福祉サービスの質の向上，地域福祉活動の拡充などが求められています。 私のゼミナールでは，高齢者福祉，障害者福祉，児童福祉，地域福祉等を包括した広い視点から社会福祉をとらえ，こんにち起きている問題や事件等を題材に専門的な知識及び技術の習得を目指します。最終的には，これからの社会福祉について理解と考察を深めていきます。
授業の概要	ゼミナールⅢでは，ゼミナールⅡで行った内容を踏まえ，テーマについてのグループでの討論等を通じて，卒業研究論文作成への基本的理解を深めていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題（予習・復習）
第 1 週 ： オリエンテーション 本講義の目的および内容等ついて説明します。また，履修状況の確認を行います。	
第 2 週 ～ 第3週：テーマ（課題）の設定（個人レベル） グループワーク（ワールドカフェ方式等）を通じて，社会福祉に関する学生それぞれが興味関心のあるテーマを見つけていきます。	リアクションペーパ提出
第 3 週 ～ 第13週：テーマ（課題）の設定（グループレベル） 同じテーマのメンバによるグループワーク（KJ法やBS法）を通じ，テーマ（課題）の設定を行います。テーマ（課題）を設定する際に，ミクロ・メゾ・マクロ視点から問題を捉えるていきます。	リアクションペーパ提出
第 14 週 ～ 第15週：テーマ（課題）の発表（グループレベル） 各グループにおいて設定したテーマ（課題）についての発表を行います。	リアクションペーパ提出
第 16 週 ： オリエンテーション 本講義の目的および内容等ついて説明します。また，履修状況の確認を行います。	
第 17 週 ： 卒業研究論文について	

卒業研究論文の目的や研究を行う際の倫理等について理解を深めていきます。	リアクションペーパ提出
第 18 週 ： 卒業研究論文のテーマについて 卒業研究論文におけるテーマ設定について理解を深めます。	リアクションペーパ提出
第 19 週 ： 卒業研究論文のテーマ設定 第18週目の講義内容を踏まえ，各自で卒業研究論文のテーマ，そのテーマを選んだ理由について考えます。	リアクションペーパ提出
第 20 週 ： 発表　卒教研究論文のテーマについて 第19週目で考えたテーマとテーマ設定の理由について全体発表・討論を行い，共有を図ります。	リアクションペーパ提出
第 21 週 ： 発表　卒教研究論文のテーマについて 第19週目で考えたテーマとテーマ設定の理由について全体発表・討論を行い，共有を図ります。	リアクションペーパ提出
第 22 週 ： 先行研究の収集（文献収集） 各自が設定したテーマに関する先行研究の収集を行います（CiNiiや図書館等）。	リアクションペーパ提出
第 23 週 ： 先行研究の整理（要約） 第22週で収集した先行研究については，要約を作成します。また，賛成的立場・批判的立場から自分の意見を考えていきます。	リアクションペーパ提出
第 24 週 ： 先行研究の整理(要約） 第22週で収集した先行研究については，要約を作成します。また，賛成的立場・批判的立場から自分の意見を考えていきます。	リアクションペーパ提出
第 25 週 ： 発表　先行研究について 第23・24週で整理した先行研究について全体発表・討論を行い，共有を図ります。	リアクションペーパ提出
第 26 週 ： 発表　先行研究について 第23・24週で整理した先行研究について全体発表・討論を行い，共有を図ります。	リアクションペーパ提出
第 27 週 ： 研究方法の検討 各自が設定したテーマをもとに，量的調査，質的調査等の研究方法の検討を行います。	リアクションペーパ提出
第 28 週 ： 研究計画の作成 第27週で検討した研究方法に基づき，研究計画，調査計画の作成を行います。	リアクションペーパ提出
第 29 週 ： 卒業研究論文発表会への参加 経営経済学部卒業研究論文発表会に参加し，卒業研究論文の作成及びプレゼンテーションについての理解を深めます。	リアクションペーパ提出
第　30　週 振り返り・まとめ グループで設定したテーマ（課題）について，調査方法（質的調査・量的調査），調査対象，調査時期，調査場所等について考え，調査計画書を作成します。	調査計画書の提出

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループワークに積極的に参加することができる。
【知識・理解】	社会福祉施設の現状について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	グループワークにおいて，自分の考え・意見をメンバーに伝えることができる。
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**35点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**30点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**35点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	講義でのレポートおよび講義への参加状況をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	